

Q. 梁接合金物が KIZ-run の床伏図内部に反映されません

【質疑内容】

KIZUKURI 最新バージョンで梁接合金物が KIZ-run の梁伏せ図内部に表示されません。

金物範囲 A、B とかは図外にまとめて表示（いままでと同）します。外回りに梁継手はたくさんありますが、なぜでしょうか。KIZ-run の書き込み基準設定が間違ったのでしょうか。V-6.5 では内部に記入されていました。

【 回答 】

- 1) 『KIZ-run』の（基本設定）に設けられている（仕口/金物の表示）の各設定に関連すると思われます
- 2) 6.6 以前のバージョンでは、（仕口金物）と（継手金物）を同じに扱っていました（金物工法との区別の為に）
- 3) バージョン 6.7 以降、（仕口金物）（継手金物）を分けました

一般事項の入力

建設地等 | 建物概要 | グリッド | 基本データ | 固定荷重 | 使用材料 | 許容応力度 | 設計方針 | 等級 | **金物** | 梁の寸法 | 基本設定 | 特殊設定

柱頭/柱脚金物の設定（短期）(kN)

伏図に金物を表示

引抜き表に金物を表示

名称	許容引張耐力
1	0
2	0
3	0
4	0
5	0
6	0
7	0
8	0
9	0
10	0

仕口金物の設定（短期）(kN)

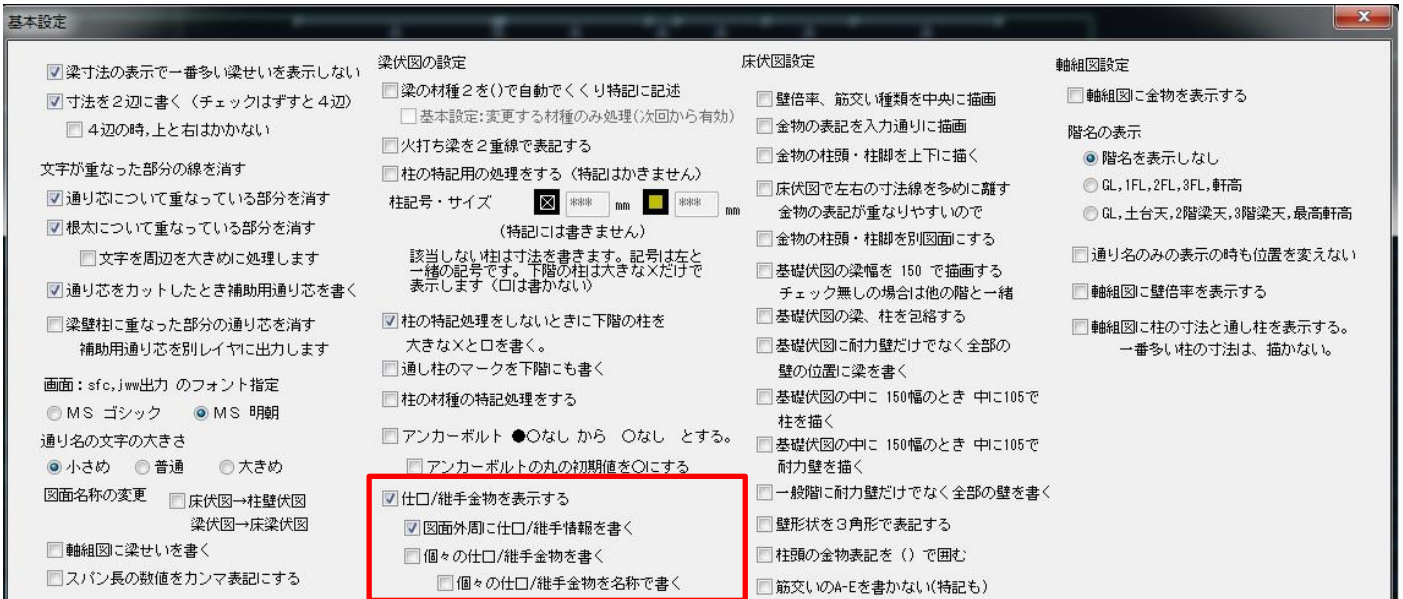
名称	引張耐力	せん断耐力
梁梁 1 (3)仕様	10.1	0
梁梁 2 (4)仕様	15.9	0
梁梁 3	0	0
梁梁 4	0	0
梁梁 5	0	0
梁梁 6	0	0
柱梁 あ (5)仕様	7.5	0
柱梁 い (6)仕様	8.5	0
柱梁 う	0	0
柱梁 え	0	0
柱梁 お	0	0
柱梁 か	0	0

継手金物の設定（短期）(kN)

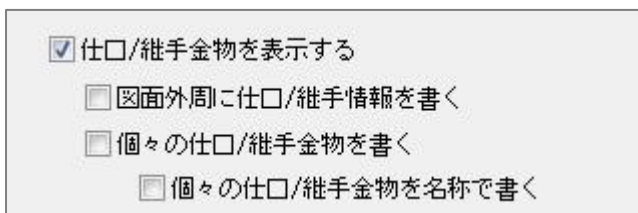
名称	引張耐力
A (1)仕様	10.1
B (2)仕様	15.9
C	0
D	0
E	0

▲KIZUKURI 【一般事項の入力】 → 【金物】 タブの入力画面

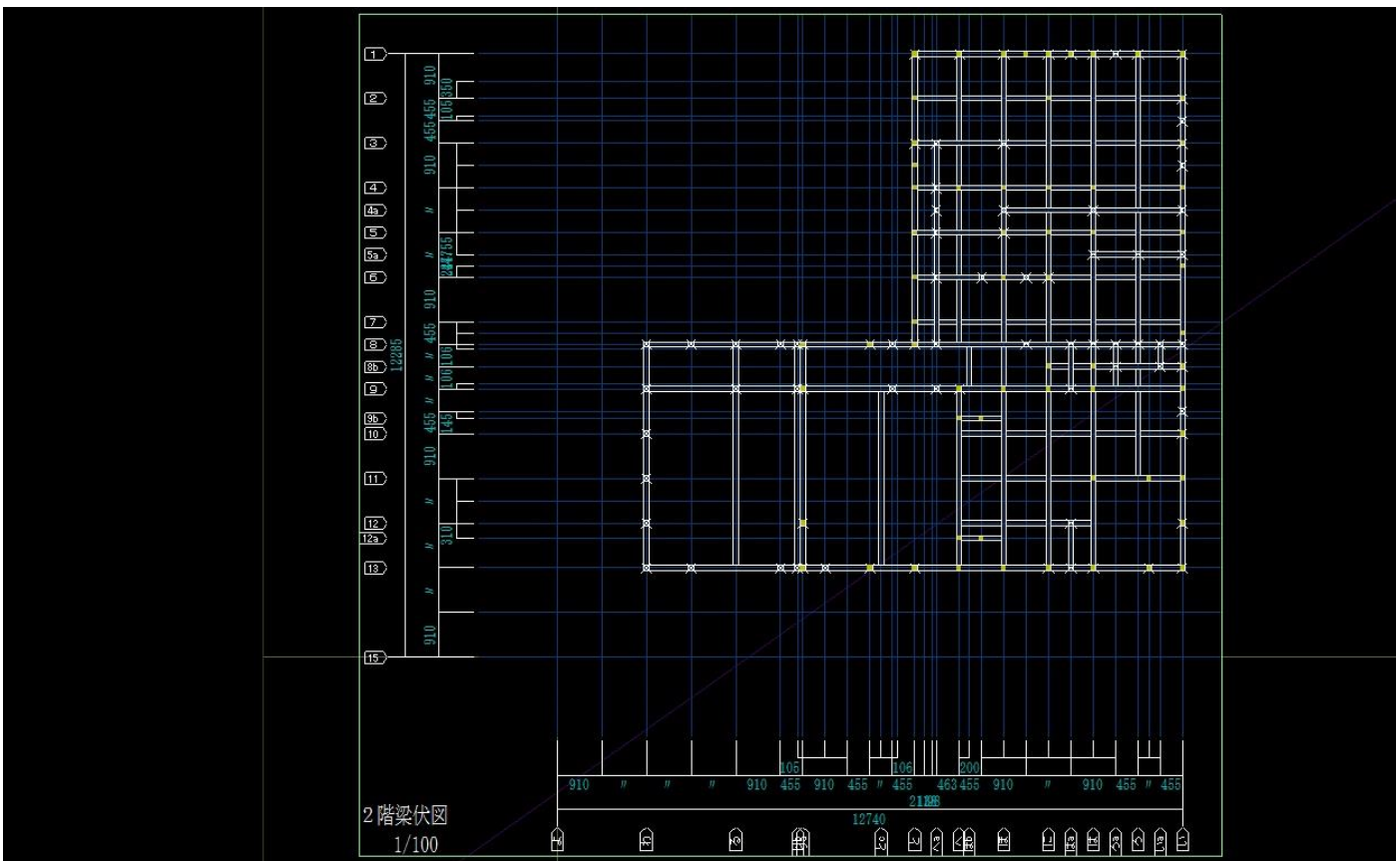
4) 外周部の (仕口金物) (継手金物) は、KIZ-run の作図設定をONにすると従来通り表示します



▲KIZ-run 梁伏図作図画面→【基本設定】の中に、金物の表示に関する設定項目があります。



と設定したとき

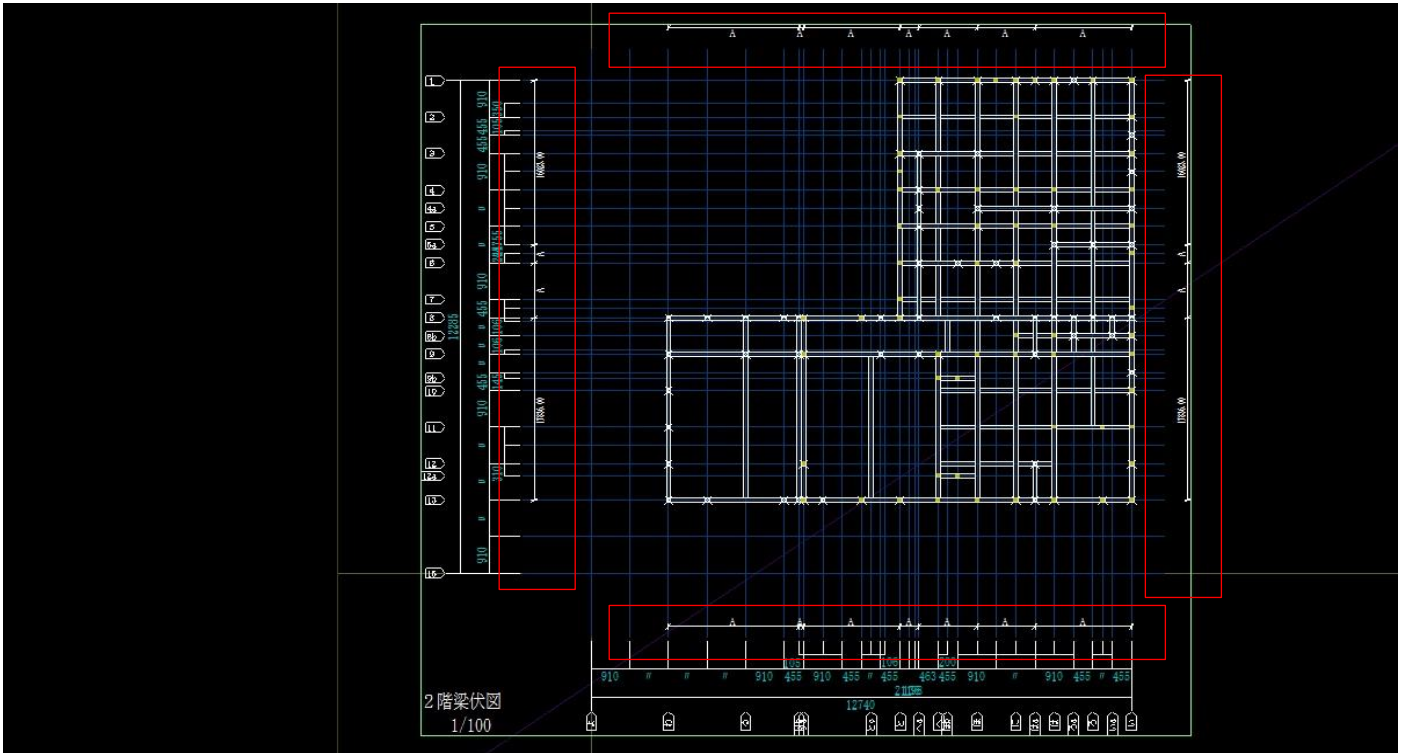


▲【仕口/継手金物を表示する】にチェックを入れるだけでは、金物は表示されません。

(↑見やすいよう、こちらの梁伏図例では梁寸法などを非表示にしています)

- 仕口/継手金物を表示する
 - 図面外周に仕口/継手情報を書く
 - 個々の仕口/継手金物を書く
 - 個々の仕口/継手金物を名称で書く

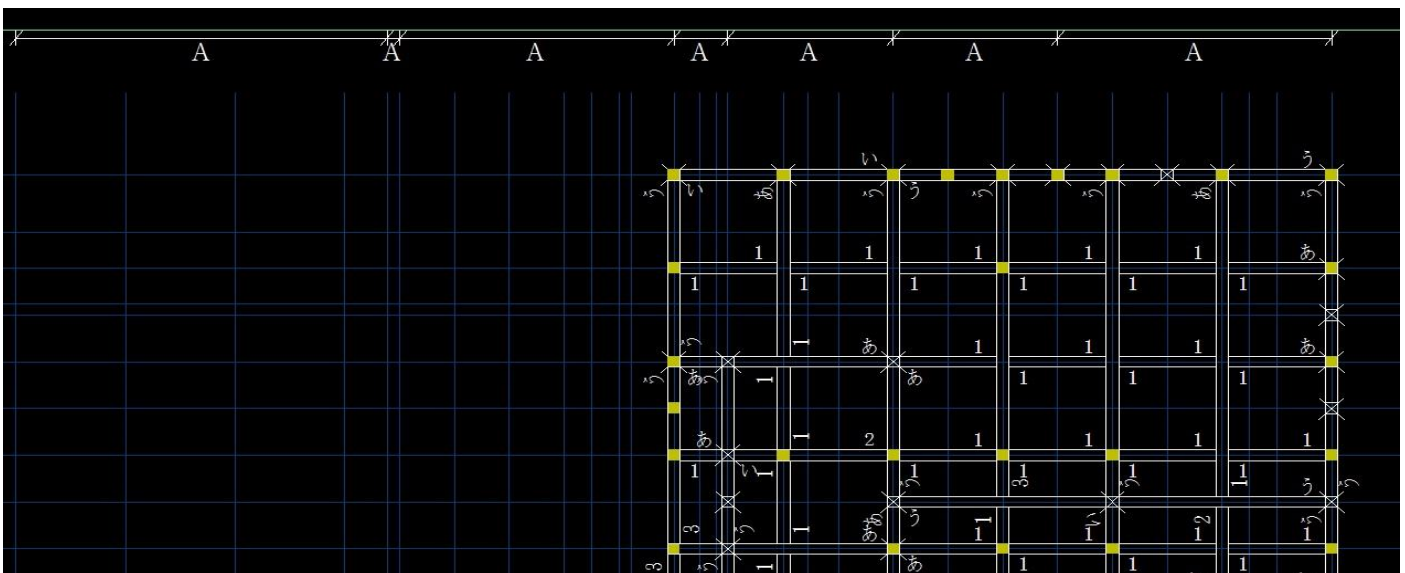
と設定したとき



▲図面の外周に継手情報が表示されます。(凡例は特記部分に記載されます)

- 仕口/継手金物を表示する
 - 図面外周に仕口/継手情報を書く
 - 個々の仕口/継手金物を書く
 - 個々の仕口/継手金物を名称で書く

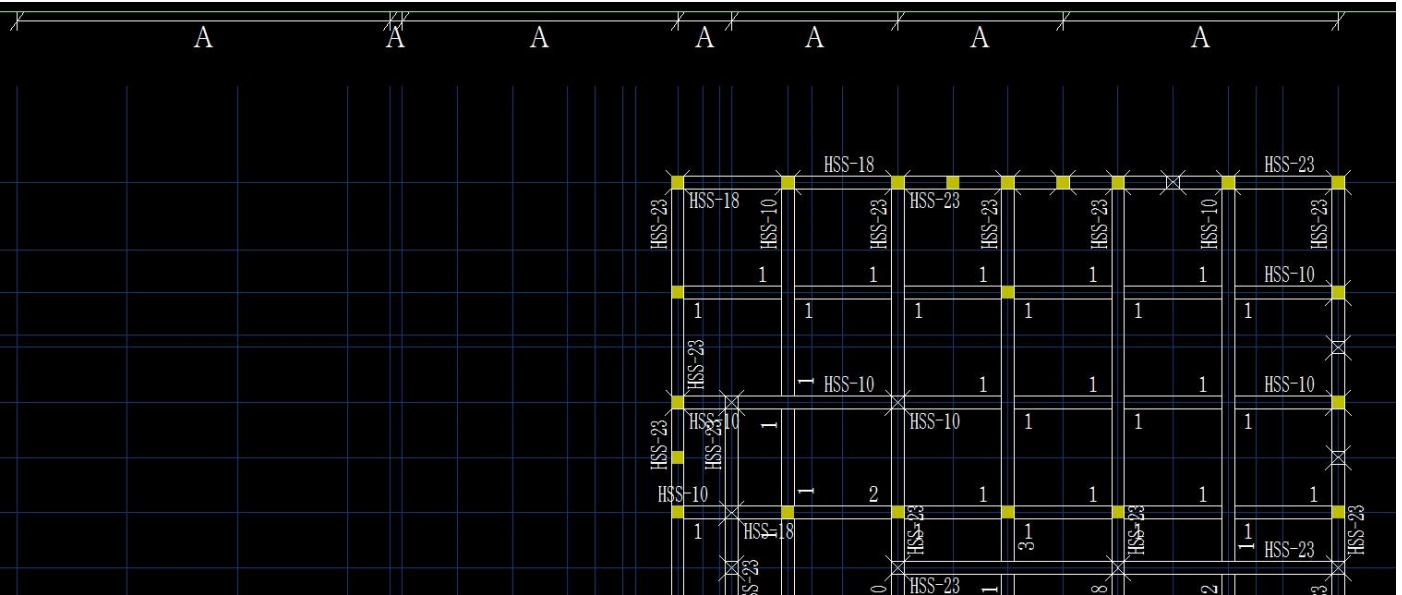
と設定したとき



▲図面内部に個々の仕口金物が表示されます。(凡例は特記部分に記載されます)

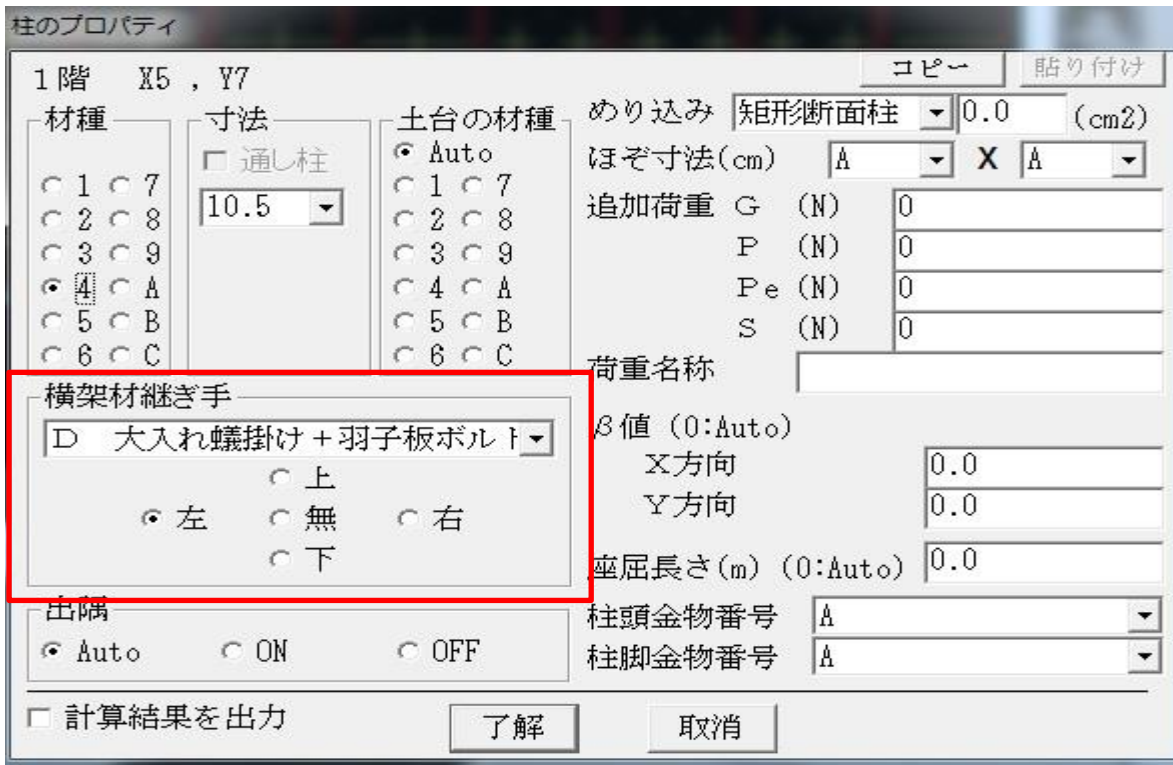
- 仕口/継手金物を表示する
 - 図面外周に仕口/継手情報を書く
 - 個々の仕口/継手金物を書く
 - 個々の仕口/継手金物を名称で書く

と設定したとき

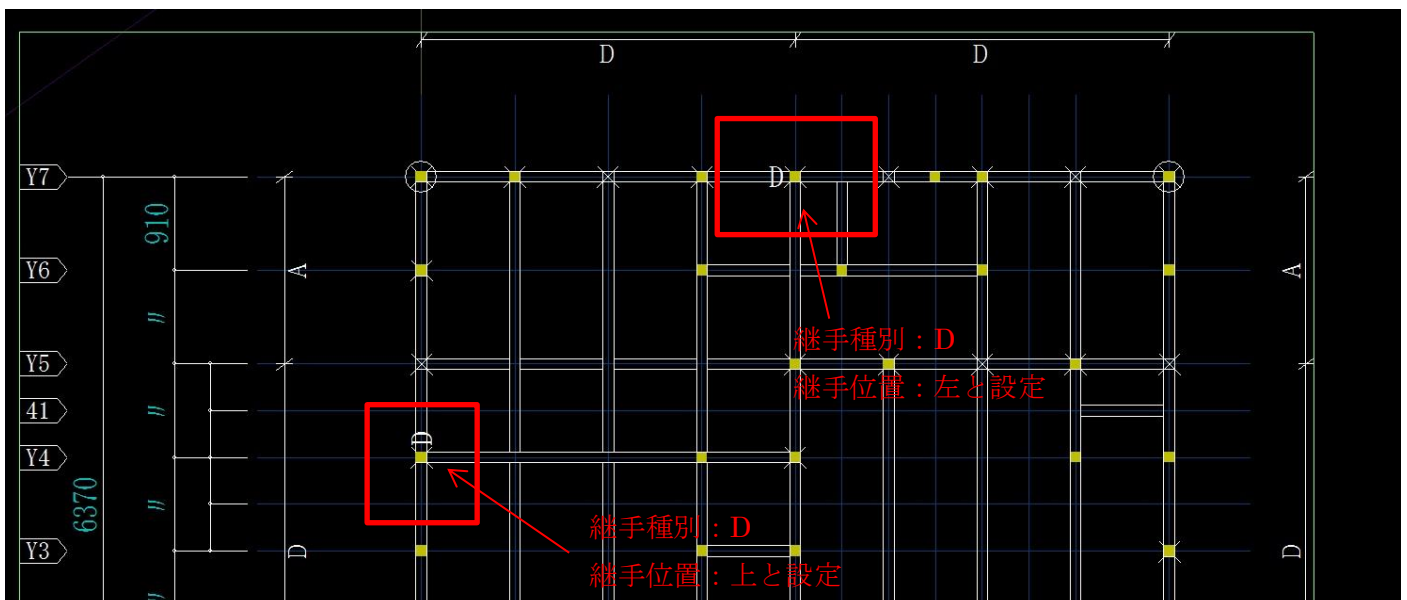


▲柱-梁の仕口金物が名称で表示されます。(特記部分に凡例も記載されます)

5) また、金物工法ではない案件の場合（仕口金物の設定を行わない場合）、上の画面のような個々の「仕口金物」は表示されませんが、KIZUKURIの柱のプロパティで横架材継手の種類と位置を設定することにより、「継手金物」の種類と継手位置が外周部だけでなく個々の柱にも表示されるようになります。



▲KIZUKURI 【略伏図の入力】 → 【柱のプロパティ】 横架材の継手種別と位置を指定すると



▲指定を行った柱に関しては、上画面のように個々に継手金物の種類と位置が表示されます。